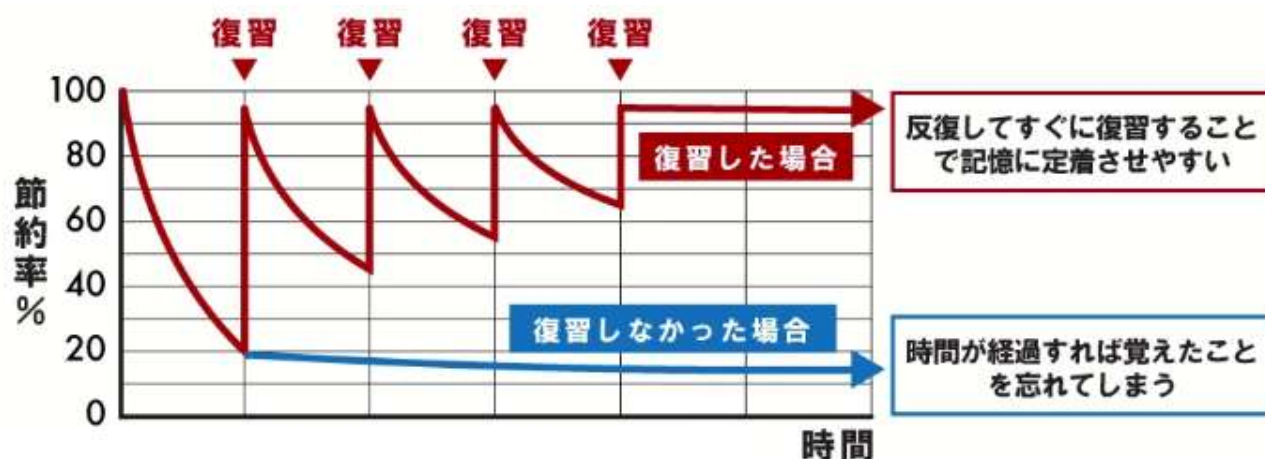


第2回定期考査に向けて勉強しています！

6/10（月）から定期考査前学習週間が始まりました。その日の1時間目には、テスト範囲表と計画表が配布され、具体的な目標を決めました。目標達成のために多くの人がテスト1週間前には提出物を終わらせる計画を立て、その後理解が不十分なところや間違えた問題をできるまで解くようにしています。理解するまで徹底的に問題に向き合いましょう！解らない問題があれば、直ぐに質問に来るか、18日（火）から実施される定期考査前学習会に参加してください。

エビングハウスの忘却曲線

下のグラフはエビングハウス（ドイツの心理学者で、記憶に関して研究した人）の忘却曲線というものです。このグラフは個人差はありますが、人間は聞いたままだと、20分後には42%の内容を、1時間後には56%、明日になると74%、1週間後に77%、1カ月後に79%忘れてしまうことを示しています。



資料：朝日新聞デジタルより

何もしないままでは、人間は忘れてしまうということです。

では、効果的に記憶を定着させるためにはどうしたらよいのでしょうか？次の4つの取り組みが効果的と言われています。今後の学習方法の参考にしてください。

- 1 毎日覚えた直後に短時間でよいので復習すること
- 2 1日後に復習すること
- 3 1週間後に復習すること
- 4 1か月後に復習すること

日頃の学習から復習を大切に
しましょう。

運動会を終えて作文を書きました。どの作文からも、達成感に溢れていた様子が伝わってきます。各クラスから1名ずつ紹介します。裏面に掲載してあります。

「全力のすごさ」

1年A組 MM

中学校生活初めての運動会では、気付かされたことが沢山あった。

今まで、僕にとって運動会はそんなに気になることではなかった。だけど、中学校の運動会はみんな気合の入りが違った。背景には、全力で練習する先輩達の姿があると思った。授業中にずっと大ムカデの練習する声が聞こえていた。全力でやるってすごいと思った。物事一つ一つに全力でやれるようになると、色々な所で役に立てそうで素晴らしいと思った。僕もそういう人になりたいととても思った。

もう一つに新しい仲間に出会ったからというものもあると思う。中学校に入っておとなしくなった人や活発になった人など僕の周りでも変化を感じることが多かった。新しい人との出会いでこんなにも環境が変わるのかと思った。

このように運動会では、僕に色々な事を気付かせてくれた。物事一つ一つに全力で取り組むというのは、これからの人生に本当に大事なことになるかと改めて思った。これに加え、沢山の挑戦をすれば、誰よりも経験値のある人になれると思った。実際に三年の先輩たちは全力でやり、多くの人の心を動かしていた。僕もあと2年で人の心を動かせるような努力ができるような人になり、後輩に引き継がなければならないと、先輩達の姿を見て思った。



「運動会を通して」

1年C組 AF

私は、中学校の運動会をし、今までとは異なった経験をした。私が出場した種目の中の全員リレーと大縄に注目する。

二つの種目には共通点がある。それは、仲間と協力しなければならないということだ。

全員リレーでは、自分の気持ちに変化が現れた。小学生の頃には考えもしなかったことが頭をよぎった。「私が走るところで抜かれたくない」練習を積み重ねてきたため、クラスメイトに迷惑をかけたくないという思いが強かったのだ。

次に、大縄では、大縄が苦手な子に「大丈夫、大丈夫」と優しく声をかけている人がいた。すると、苦手な子は大縄を何度も跳べるようになっていた。

このことから、優勝することができた。相手のことを考え、行動する。さらに、人の行動を見て自分にできることを探していきたい。